

2023年度 神戸ベルエベル美容専門学校
ブライダルスタイリスト科 カリキュラム

科目		1年次	2年次	3年次	1～3年計	実務経験者が 行う授業	
必修科目	ビューティ	ヘア	183	82	156	421	×
		メイク	147	66	66	279	×
		カウンセリング	32	30	0	62	×
		トータル	0	0	98	98	×
	衣装	洋装	54	0	0	54	○
		和装	189	100	90	379	○
		アテンド	21	32	0	53	○
	知識	ブライダル知識	21	0	56	77	○
		フラワー	6	6	0	12	×
		パーソナルカラー	0	0	50	50	×
		ユニバーサルマナー	8	0	0	8	×
		マナー	12	6	51	69	×
		SNS	0	0	48	48	×
	サロン		34	366	104	504	×
体験		0	3	24	27	×	
選択科目	HR		223	215	235	673	×
	マナー		10	10	10	30	×
	就職		18	78	0	96	×
	選択	研修	30	0	0	30	×
合計		988	994	988	2970	—	

基本情報			
講義名	ビューティ(ヘア)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	183	82	156
	合計	421	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	ブライダルにおけるヘアセットの知識・技術を重点に学習する。基礎から学び、お客様の要望に応えその人それぞれに似合うセットを提案し、それを具現化できるまでを当該授業にて学ぶ。
授業の到達目標	ヘアセットに関する基礎技術・知識の習得、日本髪技術・知識の習得、応用スタイル技術の習得することを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
道具使い方・名称	2	・ブラシ・コーム・ダッカール・ピン類・クランプ・ウィッグ(持ち方・扱い方・使い方の説明)
ブロッキング	2	・頭の各ポイントの説明 ・スライスの分け方 ・ダッカールの使い方
ホットカーラー	19	・ホットカーラーの基本(使い方、注意点)
ピン打ち	1	・ピンの種類と使い分け、使用方法
スタイリング剤の使用	1	・スタイリング剤の種類と使用方法
逆毛の立て方	1	・逆毛の目的理解、実践練習
毛たぼの作り方・使い方 一束結び	1 2	・毛たぼの役割について、作り方、実践練習 ・ブラシの使い方、ゴムの使い方実践練習、一束レッスン実践
面出し	50	・土台作り(ブロッキング～毛たぼ) ・ネープ、サイド、トップスライス・逆毛・毛先の処理レッスン ・トータル技術強化
ヘッドアクセサリー	1	・ピン打ち、オニピン、ねじピン使用方法、実践レッスン
ネープシニヨン	16	・毛たぼの作り方・実践・ブロッキング ・トップ・サイド・ネープ、かんざしの付け方実践
アレンジ	1	・編み込み、フィッシュボーン実践
アイロン技術	9	・コテ巻き、内巻き外巻き、リバースフォワード真希、表面巻き実践 ・波ウェーブ、前髪、ストレートアイロンの実践
メンズヘアセット	6	・ドライ、ブローの知識、シルエットの理解、前髪立ち上げ、ストレートアイロン仕上げ
カールアップ	39	・毛たぼ作り、抱き合わせ、トップ部分のブロッキング、まとめ方実践 ・前髪のまとめ方、カールの作り方、スタイルバランス ・仕上がり強化 ・タイム内での仕上りの強化
アシスタント業務	2	・ヘルプの仕方・立ち位置
トレンドヘア	44	・スタイル1～3の作成、仕上がり・タイムの強化 ・造花、ティアラを使用しての作品
参列ブロー	14	・ブロッキングの理解 ・バック、サイド、前髪のブローデモ、全体ブロー実践
クイックチェンジ	26	・面出し手順、仕上がり強化、ハーフアップの手順、巻き方実践
人頭似合わせ	50	・似合わせの定義、モデルレッスン ・ウィッグでの似合わせ実践、ラフ案の作成 ・カウンセリングの実施、造花の付け方 ・指示書の作成、指示書を基にモデルにて実践
新日本髪	30	・毛たぼの作り方、ブロッキング、髷についての説明、実践レッスン ・前髪、まげ、かんざしの付け方についての説明、実践レッスン ・トータルレッスン
模写ヘア	14	・スタイル提示、ラフ案記入、ラフ案を基にスタイルの作成 ・コテ巻き込み(チェック、手直し)
試験対策	90	・試験対策 弱点強化、タイムアップ

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	ビューティ(メイク)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	147	66	66
	合計	279	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	メイクに関する基礎的な知識・技術を1から学習し、そこから応用的なメイクの知識技術を学ぶ。ブライダル特有のブライダルメイクや和装に合わせた水化粧の技術まで、就職後即戦力として通用する技術を学習し身に付ける。
授業の到達目標	メイクに関する基礎知識・技術の理解と習得、ブライダルメイク・イメージメイクの技術習得、メイクカウンセリングに関する知識・技術の習得、水化粧知識・技術の習得、応用メイクの習得を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
道具の使い方、名称	3	・授業での身だしなみ、道具の名称と使い方
化粧品の定義	1	・化粧品の定義、スキンケアの必要性
皮膚の構造	2	・皮膚の構造と働き、3ステップによるスキンケアシステム、スキンケアテクニック
クレンジング スキンケア技術	23	・ポイントクレンジング ・フェイシャルクレンジング ・リップクレンジング～ティッシュオフまでのトータル ・ローショントーンング、クリームトーンング
ベース技術	18	・アンダーベース、ファンデーション、コンシーラー、フェイスパウダーの塗り方 ・ローショントーンング～ハイライト・ローライト確認
ポイントメイクの基本	4	・ポイントメイクが与える印象・ナチュラルメイクとは
アイブロウ	6	・ハードフォミュラの削り方、眉のプロポーション、眉の描き方(ナチュラル)
アイシャドウ	6	・ブラシの持ち方 ・アイシャドウの取り方、塗り方
アイライン・ビューラー マスカラ	6	・アイラインの引き方、ビューラーの使い方、マスカラの塗り方(上下)
チーク・リップ	4	・チークの入れ方 ・リップの塗り方
スキンケア技術～リップ	10	・トータル手順確認・タイム計測(スキンケア～リップ)
理想の顔型 判断方法・修正技術	4	・顔型の特徴、判断方法、理想の顔型を理解する ・ローライト・ハイライトで顔型修正を理解する
ブライダルメイク	10	・定義の理解、WDメイク・CDメイクの理解 ・ブライダルメイクの技術、ベースメイクの作り方、アイブロウの描き方、アイメイクの仕方 チーク・リップの描き方
イメージメイク	98	・イメージ別メイクの定義、イメージ別の色味・方法の理解 ・イメージメイク【クール】【フェミニン】【エレガント】【キュート】の方法 ・モデルに合わせたイメージメイク ・テーマ別メイク(カラードレス)
撮影用メイク	18	・撮影用メイクとは、普段メイクとの違い、撮影用メイク方法 ・スキンケアからフルメイク
模写メイク	40	・模写メイクの方法の理解・実践
ボディメイク技術	3	・刷毛の使い方・ケークファンデーションの使い方、塗り方・腕・手・首の塗り方、実践
水化粧	23	・水化粧の知識、和装メイク(水化粧)とは、洋装メイクと和装メイクの違い ・道具の説明・使い方 ・ローショントーンングの仕方、スティックファンデーションの塗り方、チークの入れ方 ・フェイスパウダー(おしろい)の塗り方

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	ビューティ(カウンセリング)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	32	30	0
	合計	62	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	ブライダルスタイリストとして必要なお客様の要望に的確に対応できるヒアリング力やその他基礎知識を学ぶ
授業の到達目標	基礎知識の習得、ヒアリングに基づく提案力の習得を目的とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
接客について	1	接客時の基本マナーの説明・理解、接客用語と敬語の説明・理解
基礎知識	4	カウンセリングの目的・流れ、ヒアリングの目的・理解・デモ・実践 提案の必要性、イメージワードの理解、イメージに合うドレスのラインの確認
カウンセリング実践	57	衣装小物、メイク、ヘアのカウンセリング～提案の実践 カウンセリングシートの使用法 衣装～ヘアメイクのカウンセリングの実践 ブーケのカウンセリングの実践 衣装～ヘアメイク～ブーケのカウンセリング実践 似合わせについて 確認テスト、強化

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	ビューティ(トータル)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	0	0	98
	合計	98	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	ヘア、メイクの授業で得た知識、技術を総合的に学び、トータルコーディネートの技術を学ぶ。お客様のイメージ別、衣裳別のコーディネートや似合わせ技術を習得する。
授業の到達目標	イメージ別トータルコーディネート、衣裳別トータルコーディネート、似合わせトータルコーディネートの習得を目的とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
イメージ別トータルコーディネート	26	<ul style="list-style-type: none"> イメージ別の種類(イメージワードの確認・復習) スタイルブック作成 モデルに似合うイメージを基にコンセプトシート・ラフ案作成、プレゼン実施 フィードバックを基に手直し、撮影
ドレスライン・素材別トータルコーディネート	34	<ul style="list-style-type: none"> ライン別イメージの確認、ドレス素材のイメージの確認 スタイルブック作成 モデルに似合うイメージを基にコンセプトシート・ラフ案作成、プレゼン実施 フィードバックを基に手直し、撮影
披露宴会場別イメージコーディネート	8	<ul style="list-style-type: none"> 披露宴会場別コーディネート 披露宴会場のコーディネート別のイメージの理解 会場に合った衣裳・小物の選択、衣裳に合ったラフ案の作成 衣裳着付け、写真撮影
模写スタイルの似合わせ雑誌イメージ別似合わせ	30	<ul style="list-style-type: none"> 理想の顔型判断方法 顔型の特徴の復習、判断方法、理想の顔型の理解 理想の顔型修正技術 顔型修正方法の復習 模写スタイルの似合わせ 指定されたスタイルを基に似合わせラフ案の作成 ラフ案を基にヘアメイクの実践、タイム 雑誌イメージ別 イメージに合ったスタイルを基に似合わせラフ案の作成 ラフ案を基にヘアメイクの実践タイム 雑誌のイメージに合った写真撮影

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	衣装(洋装)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	54	0	0
	合計	54	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
ブライダルスタイリスト・美容師・メイクアップアーティスト	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、結婚式場・ブライダルサロン・ドレスショップ・美容室等にて、ブライダルスタイリストとしてヘアメイク・衣装着付け等の業務の実務経験が3年以上あるものが当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	必要な洋装に関する知識、ドレスフィッティングに関する知識・技術を実技授業の中で学び、向上させる。 知識や技術を接客に応用し、お客様の希望に沿った提案ができるようカウンセリング能力を養える授業を実施する。
授業の到達目標	ドレス・タキシード等の洋装に関する基本知識とフィッティング技術、小物の知識と身長・体系、お客様の希望に合わせた衣装提案をする力を習得することを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
ドレスの知識	2	ドレスラインの種類と特徴、ネックラインの特徴
ドレスのサイズ	3	サイズ表記の見方・種類、サイズの合わせ方の説明・理解
ドレスの小物	9	ブライダル小物と種類、付け方
ドレスの運び方 パニエの片付け方の理解	4	ドレスの試着の知識 ドレスの扱い方・持ち方、パニエの片付け方、ドレスとパニエのセッティング
ドレスとパニエの セッティング	2	美しく着付ける為のセッティング
インナー装着	2	インナーの重要性理解フィッティングのデモンストレーション(相モデルでの実践)
ドレスフィッティング ドレスチェンジ	8	パニエのはかせ方、ドレスの着せ方 1着目から2着目へのチェンジの仕方
タキシード	24	タキシードの知識、サイズ、試着の知識、サイズ合わせ、セッティング タキシードのフィッティング タキシードの片付け方

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	衣装(和装)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	189	100	90
	合計	379	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
ブライダルスタイリスト・美容師・メイクアップアーティスト	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、結婚式場・ブライダルサロン・ドレスショップ・美容室等にて、ブライダルスタイリストとしてヘアメイク・衣装着付け等の業務の実務経験が3年以上あるものが当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	必要な和装に関する知識、和装着付けに関する知識・技術を実技授業の中で学び、向上させる。知識や技術を接客に応用し、お客様の希望に沿った提案ができるようカウンセリング能力を養える授業を実施する。検定対策も行う。
授業の到達目標	和装に関する基本知識と着付けの基礎技術、小物の知識と身長・体系、お客様の希望に合わせた衣装提案をする力を習得することを目標とする。 検定合格レベルへの到達を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
着物の知識	13	着物の基本(着物の名称、着付の道具、小物知識) 留袖、振袖、白無垢、色打掛、引き振り、紋付き袴の知識
留袖	133	準備・セッティング・片付け方法 長襦袢の着せ方 裾の合わせ方、衿の合わせ方、おはしよりの作り方 帯の結び方～帯枕 留袖トータルの仕上がり 帯アレンジ、訪問着
下着補正	2	肌着・裾除け・足袋の着せ方、タオル補正・コットン補正の仕方
振袖	98	補正・長襦袢の着せ方、裾・衿の合わせ方 帯の結び方～帯枕 振袖トータルの仕上がり、確認 補正～長襦袢復習、振袖復習、帯結び復習 創作帯結び(変わり立て矢)、帯アレンジ 帯揚げ、帯締めアレンジ
白無垢	57	白無垢とは、補正の仕方 長襦袢の着せ方(衿・裾) 掛下(衿・裾)合わせの仕方、掛下裾入れの仕方 補正から掛下伊達巻 帯の結び方～帯枕～仕上げ 筥迫・懐剣・末広・抱え帯の付け方
紋付き袴	24	紋付の知識 補正の付け方、長襦袢の着付け方、長着の着付け方、角帯の結び方 袴の着付け方、羽織の着付け方
女袴	18	女子袴の知識、道具の理解 補正の仕方、長襦袢の着せ方、着物の着せ方 半幅帯の作り方、袴の着せ方、タイム計測
衿付け	4	裁縫の理解、半衿のつけ方(アイロンかけ、待ち針うち、縫い付け)
引き振袖	22	補正・長襦袢の復習、引き振袖の着付け方 帯の結び方、5点セットの付け方、(立て矢)5点セット
帯結び	8	二重太鼓

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	衣装(アテンド)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	実技	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	21	32	0
	合計	53	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
ブライダルスタイリスト・美容師・メイクアップアーティスト	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、結婚式場・ブライダルサロン・ドレスショップ・美容室等にて、ブライダルスタイリストとしてヘアメイク・衣装着付け等の業務の実務経験が3年以上あるものが当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	必要なアテンドに関する知識、アテンドに関する知識・技術を実技授業の中で学び、向上させる。得た知識技術によってスムーズなアテンド業務ができるよう授業を実施する。
授業の到達目標	ブライダルにおけるアテンド業務に関する基本知識と基礎技術、それぞれの場所・状況・お客様の違いに応じたスムーズなアテンドを提供する力を習得することを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
アテンド業務	4	・アテンドの業務内容、役割、注意点 ・神父立ち振る舞いのアドバイス方法
洋装アテンド	9	・ドレスの持ち方、持たせ方、トレーンの広げ方 ・靴の履かせ方、歩き方 ・誘導方法、ポージング方法
和装アテンド	7	・和装の際の襷の持たせ方 ・撮影アテンド、ポージング方法
新郎アテンド	3	・新郎立ち居振る舞いのアドバイスの方法 ・新郎の立ち方、エスコート
衣装チェックポイント	5	・式当日、撮影の際のチェック項目 ・復習
挙式中のアテンド	7	・挙式アテンドの役割、挙式アテンドの動き、挙式内容の理解 ・グローブ、ブーケを受け取るタイミング、トレーンのさばき方
披露宴中のアテンド	5	・披露宴中のアテンドの立ち位置、内容、トレーンのさばき方
撮影アテンド	1	・撮影の際の役割 ・衣装、ヘアメイクチェックのポイント、移動時のアテンド
アテンダーの資質	4	・アテンダーに必要な資質 ・身だしなみの復習、持ち物 ・アテンドのチェックすべきポイント
トラブル対応	8	・ドレストラブルの対処法 ・和装トラブルの対処法 ・ロケーション撮影のトラブル対応

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	知識(ブライダル知識)	実務経験のある者の授業	○
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	21	0	56
	合計	77	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
ブライダルスタイリスト・美容師・メイクアップアーティスト	社会に出た際に活かせる実践的な授業を展開する為、結婚式場・ブライダルサロン・ドレスショップ・美容室等にて、ブライダルスタイリストとしてヘアメイク・衣装着付け等の業務の実務経験が3年以上あるものが当該授業を実施する。

授業内容	
授業概要	ブライダルに関する基礎的な知識・衣装・ヘアメイクに関してを学ぶ。また、その知識や他の授業で学ぶ、衣装やヘアメイク等の技術を連動させ、お客様の要望をうまく引き出せるようなカウンセリング力、接客力も同時に向上できるような授業を行う。
授業の到達目標	洋装・和装、婚礼衣装の基礎知識の理解、ヘアメイク・衣装のカウンセリング力の習得、フォーマル衣装の知識、ブーケ・お花の知識の習得、アテンドの知識の習得を目標とする。

No.	具体的内容	
	項目	内容
結婚、結婚式とは	3	結婚の定義、結婚・婚姻・婚約・入籍の違いについて ブライダル商品の特講、結婚式に携わる心構え
ブライダル業界	4	ホテル、式場、ゲストハウス、レストランの特徴、ブライダル関連企業、スケジュールの理解 六輝・結婚に関する文化、しきたり
式の種類	1	挙式のスタイルの知識
挙式の知識	3	キリスト式の流れ、人前式の流れ
披露宴	2	披露宴の流れ
一般常識	2	一般常識(お見合い、顔合わせ、結納)の理解
ブライダル用語	3	ブライダル業界で使われる言葉の理解
復習	13	テスト対策
婚礼衣装業界について	3	ホテル、式場、ゲストハウス、レストランの特徴、関連企業について
新婦の衣装知識	8	ドレスの歴史、ドレスのデザイン、小物について、新婦和装
新郎の衣装知識	5	洋装の歴史と洋装の種類、各部位の名称、新郎和装
列席者の衣装	4	両親、媒酌人夫婦の衣装、その他列席者の衣装
ドレスコーディネーター業務	11	貸衣装、セルドレス、オーダードレス 受付、カウンセリング 衣装選択、フィッティング技術 トータルコーディネート、アテンドテクニック お直し、メンテナンステクニック、ディスプレイ技術、商品管理、搬入出 必要書類作成、ドレスコーディネーターに求められるスキル
ブライダルフラワー	4	フラワー業務、アイテム、確認テスト
検定対策	11	練習問題解説 模擬テスト 復習

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

神戸ヴェベル美容専門学校
ブライダルスタイリスト科 シラバス

基本情報			
講義名	知識(フラワー)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	6	6	0
	合計	12	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
—	—

授業内容	
授業概要	ブライダルスタイリストとして必要なフラワーに関する知識・技術を学ぶ
授業の到達目標	ブライダルに関するフラワーの知識・技術の習得

具体的内容		
項目	時間	内容
フラワー知識	7	歴史、習慣と花言葉、生花と造花の違い、ブーケの知識 お花のヘッドパーツ
実践	5	生花基礎、応用 ヘアードの作成 髪へのセット方法

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	知識(パーソナルカラー)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	0	0	50
	合計	50	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	色に関する知識を学ぶ。似合う色の根拠を把握し、目的に応じた色の演出効果を理解することで、お客様一人一人の似合う色(衣装の提案等)の提案をできるような技術を当該授業にて身に付ける。検定取得対策も実施する。
授業の到達目標	色についての基本的な知識の理解、色の知識をその他の授業の中で役立て衣装の提案等に活用できるようになること。 検定合格レベルへの到達を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
基礎学科	19	パーソナルカラーとは何か:板書、解説 色が見える光の条件:板書、解説 色が見える物体の条件:板書、解説 色が見える視覚の条件:板書、解説 色の基礎知識 色の三属性:板書、解説 PCCS表色系について トーン表の作成 色の基礎知識 清色と濁色:板書、解説 色の属性の見極めレッスン フォーシーズン色の解説 フォーシーズンの特徴の解説 基本の配色方法:色相配色 基本の配色方法:トーン配色 色相、トーン配色の演習 色彩調和論(人名、説の解説と板書、ライン引き) 復習、確認テスト
実技基礎	8	パーソナルカラー分析の考え方 色の属性が肌に与える影響:板書 ドレーピングとは(解説) ドレーピングのやり方(デモ) カラー診断の実習 フォーシーズンの見本帳の作成
実技	4	フォーシーズンのヘアメイクカラー 配色技法の演習
模擬問題	6	色の見極め(問題作成) 問題実施 問題の解答と解説 復習プリント
模擬試験	13	過去問題、解答解説、総まとめ

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、学期末テスト、授業にて行う確認テストの成績、レポート提出等で総合的に成績評価を行う。出席率が85%以上で、且つ学期末テストの試験成績が60点以上であることを履修認定の基準とする。

基本情報			
講義名	知識(ユニバーサルマナー)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	8	0	0
	合計	8	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	高齢者や障がい者に歩み寄れるようなスキルや知識、こころづかいを身につける。 職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくための必要なマナー・スキル・人間力を取得させる。
授業の到達目標	卒業後、業界・就職先にて技術だけでなく、接客のプロとして即戦力で活躍できる人材に育成することを目標とする。 検定の合格。

具体的内容		
項目	時間数	内容
ユニバーサルマナーとは	2	ユニバーサルマナーとは 高齢者や障害者への向き合い方 どんな人がどんなことに困るのか? 困った時のお声かけ方法
知的障害者・精神障害者サポート	1	知的障害者・精神障害者へのサポート方法
グループワーク	1	シーン別のケーススタディ(グループワーク)
車いす利用者サポート	1	車いす利用者への実践的なサポート方法
視覚障害者・聴覚障害者サポート	1	視覚障害者、聴覚障害者への実践的なサポート方法
高齢者サポート	1	高齢者への実践的なサポート方法
試験前の総復習	1	今までの復習

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	知識(マナー)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	選択
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	12	6	51
	合計	69	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	サービスに対する心構えや顧客心理の理解、応対の技術、言葉遣い、立ち居振る舞いなどを学ぶ。職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくための必要なマナー・スキル・人間力を取得させる。
授業の到達目標	卒業後、業界・就職先にて技術だけでなく、社会人としてブライダルにおける接客のプロとして即戦力で活躍できる人材に育成することを目標とする。

具体的内容		
項目	時間数	内容
マナーとは	6	マナー・エチケット・礼儀・作法の違い、マナー・プロトコルを学ぶ意義
社会人に必要なマナー	6	好印象を与えるコミュニケーションとは
ビジネスシーンでのマナー	6	ビジネスマナーの必要性、社会人としての心構え 名刺の扱い方、電話対応、来客対応
復習	5	復習
食事のマナー	17	食事の作法の基本 和食のマナー、和食の作法 西洋料理のマナー 中国料理、各国の料理マナー 総まとめ
冠婚葬祭	29	「冠」のしきたり、「婚」のしきたり、「葬」のしきたり、「祭」のしきたり 確認テスト

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	知識(SNS)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	選択
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	0	0	48
	合計	48	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	近年個人、企業において頻繁に利用されるSNSに関する知識、利用活用方法について学ぶ。
授業の到達目標	SNS使用における基礎知識、動画作成の知識習得を目標とする

具体的内容		
項目	時間数	内容
基礎知識	6	SNSにおける基礎知識
SNS活用の基礎	2	企業、団体SNS活用の基礎
SNS活用の実践	40	SNSにUPするヘアメイク作成、撮影 SNSにUPする動画作成における基礎知識 SNSにUPする内容の企画 企画内容を基にヘアメイクの作成、撮影

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	サロン	実務経験のある者の授業	×
授業形態	実習	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	34	366	104
	合計	504	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	実際にお客様への接客や、技術提供をすることで実践的な経験を積むことができる。また、単体で動くのではなく、組織として役割を持ちその中でどう動くのかを自ら考える力を本授業で学び向上させていく。
授業の到達目標	卒業後、就職先にて即戦力として働ける接客力・技術力を身に付けること、店舗の運営に関する理解することを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
サロン授業	154	サロン実習の目的、今後の流れ・業務内容 ウェディングプランナー・ブライダルスタイリストの業務内容 サロン実習の基礎知識(発注、料金、書類、在庫管理等) 新規接客の流れ理解、新規接客シミュレーション 打合せの流れ、参列予約の取り方、ヘアメイクリハーサルの流れ 来店～施行までの一連の流れ 参列者の荷物の預かり管理、施設の導線確認 施行当日の流れ、改善と改善点の共有 衣裳・ヘアメイクカウンセリング 衣裳メンテナンスの仕方(洋装和装) サロン実習の振り返り コミュニケーションについて、仕事の進め方
接客テスト	12	トータルでの入客シミュレーション
サロン実習	338	運営の仕組みの理解、数字への意識 お客様への気配り、接客力 振り返り、レポート作成

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	体験	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	0	3	24
	合計	27	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
—	—

授業内容	
授業概要	ブライダルの実際の現場での撮影等の体験をする。
授業の到達目標	ブライダルの実際の現場での撮影等の体験を通して、ブライダルスタイリストとしての仕事を体感することで将来に向けてのイメージを付けられるようにすること、現場での知識の習得を目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
知識	6	婚礼のロケーション撮影について、業務の流れ、お直しについて 婚礼のスタジオ撮影について、型物撮影の知識
現場見学	6	実際の現場を見学
実践	15	ロケーション撮影、スタジオ撮影

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	HR	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	選択
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	223	215	235
	合計	673	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> 生徒間のコミュニケーション向上。 コンプライアンスや一般常識、社会の危険知識を身に付ける。 イベントを通して美容の面白さや、多くの人との関わり合い・協調性を身に付ける。
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 学生生活での一般常識や守らなければならないこと、チームで力を合わせ取り組む姿勢、社会に出てからの一般常識や危険性の知識習得を目標とする。

具体的内容		
項目	時間数	内容
リーダー任命式・セミナー	18	・生徒間コミュニケーション向上、学校ルール
ベルコレ	37	・作品の製作、技術訓練、発表
防災対策	18	・消防署からのアドバイス、訓練、災害種別による避難
防犯対策	22	・犯罪被害予防、不審者、不審物、ストーカー被害
薬物乱用	12	・薬物の危険及び影響、薬物や有機溶剤及び医薬品の乱用
社会貢献	32	・地域活動、地域行事参加
マナー	12	・言葉遣い、服装、電話対応、来客対応
ビジネス文書	4	・挨拶文、宛名の書き方、メール
SNS	38	・フェイスブック、ツイッター、インスタグラム、LINE、の特徴や危険性、対処
冠婚葬祭	9	・慶事、弔事、贈答
仕事・組織	8	・チームでの仕事、仕事の進め方
職場生活	8	・整理整頓、勤務態度行動
個別弱点強化	280	・個々の苦手科目強化及び指導
進路相談	12	・希望就職先、職種類
特別講習	131	・卒業生やサロン 企業従事者による講義
ハラスメント	18	・セクシャルハラスメント、パワーハラスメント、具体例、防止、復習
コミュニケーション	14	・社会人・組織のコミュニケーション

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	マナー	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	選択
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	10	10	10
	合計	30	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の实務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	サービスに対する心構えや顧客心理の理解、対応の技術、言葉遣い、立ち居振る舞いなどを学ぶ。職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくための必要なマナー・スキル・人間力を取得させる。
授業の到達目標	卒業後、業界・就職先にて技術だけでなく、接客のプロとして即戦力で活躍できる人材に育成することを目標とする。

具体的内容		
項目	時間数	内容
サービススタッフの資質	2	サービススタッフに求められる資質
専門知識	3	サービスの現場における行動
一般知識	3	サービス業で使うことわざ・慣用句、季節行事と食べ物・カタカナ用語
対人技能	3	接客用語、敬語の記述問題
実務技能	3	掲示物の書き方・イラスト問題、クレーム対応、社交業務
理論編復習	4	理論編確認テスト実施、解説と解答
実技編復習	4	実技編確認テスト実施、解説と解答
直前対策	4	模擬テスト、解説と解答
面接対策	4	面接の審査基準とポイント、面接の流れ、部分動作の練習 面接シミュレーション

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	就職	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	必修
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	18	78	0
	合計	96	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	希望する就職先に入る為の就職活動をする上での対策・マナーの学習はもちろんのこと、自分の将来を考えた上での企業の選定方法や選定する上で気を付けなければならないことを学ぶ。
授業の到達目標	生徒が持っている将来像をはっきりとしたものにさせ、その将来像を目指すにあたっての企業選定や、就職活動をする上での対策やマナー等を習得させ、より良い就職をさせることを目標とする。

具体的内容		
項目	時間	内容
業界知識	5	業界について(ブライダルヘアメイク、フォトスタジオ、ドレススタイリスト、プランナー) 業界の現状と求めている人物像
キャリアプランニング	6	キャリアプランニングとは
活動の流れ	3	就活の流れ、今後のポイント、過去(卒業生)の実績
インターンシップ	2	インターンシップ・アルバイトの魅力、重要性
サロン実習・見学	4	サロン実習見学、見学後の振り返り
自己分析・PR	12	自己分析とは、モチベーショングラフ作成・発表、自己PRとは 在学中に最も力を入れたことを考える、文章にする
企業研究 志望動機	11	企業研究の目的、意味 求人サイトの見方、登録について 企業研究のポイント、研究内容の発表 志望動機について 求人票の見方、内容
書類関連	6	履歴書とは、書き方、添え状・封筒 企業研究をし履歴書の作成
選考・面接	45	選考の種類と目的、エントリー方法 グループディスカッション、集団面接 模擬面接
内定後	2	内定後の流れ、内定通知書と内定承諾

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、確認テスト、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。

基本情報			
講義名	選択(研修)	実務経験のある者の授業	×
授業形態	講義	必修/選択	選択
授業時間数	1年次	2年次	3年次
	30	0	0
	合計	30	

担当教員(実務経験のある者の授業の欄が○の場合記載)	
職種	担当する教員の実務経験内容
-	-

授業内容	
授業概要	普段とは異なる環境の中で、グローバルなセンスや最先端の技術に触れさせ、生徒一人ひとりへの刺激となる研修を行う。
授業の到達目標	学校外での研修において、学内では触れることのできない貴重な経験をさせ、刺激を与え生徒の夢へのモチベーション向上、技術向上を目標とする。

具体的内容		
項目	時間数	内容
研修	30	外部の特別講師による講義、デモンストレーションや技術実習の実施

成績	
成績評価の方法・基準	出席状況、授業への取り組み姿勢、レポートの提出等を総合的に判断し、成績評価を行う。